

# うちこしレポート



うちこし基安 事務所 〒811-1302 福岡市南区井尻4-3-49(西鉄井尻駅交番前)  
TEL.092-589-3600 FAX.092-589-3636 Eメール:m@uchikoshi.info サイト:http://www.uchikoshi.info/

福岡市議会議員(南区)  
うちこし 基安  
打越 基安

## 暑中お見舞い申し上げます!



2021年夏号

### 西鉄天神大牟田線 井尻地区における連続立体交差事業、国庫補助の数値に届かず

### 引き続き実現を目指します!

井尻地区における連続立体交差事業が国庫補助の前提となる費用対効果(B/C)が見込まれないとして事業着手となりませんでした。私・うちこしは、費用対効果の算定に交通結節機能の強化や賑わいの創出、防災・減災効果が考慮されていないなど、承服しがたい結果です。いったん仕切り直しとはなりますが、事業着手の不足分を補うために視野を広げ、井尻地区まちづくり期成会を筆頭に沿線の皆さんとともに引き続き実現に向けて力を入れて参ります。

### 費用対効果の便益の対象はもっと広げるべき

連続立体交差事業については多額の事業費を要し、事業期間が長期にわたることなどから、福岡市は国庫補助事業となることが不可欠として、費用対効果(B/C)いわゆるB(便益)バイC(コスト)について検証していました。補助を受けるにはB/Cは1を超えることが前提条件

### 皆さんとともに、ひるまず前へ!

新型コロナウイルスがいまだに影を落とす、皆さまご苦労なされていること存じます。ウイルス感染症関連支援につきましても、まだまだ不十分なから国、福岡県、福岡市が事業・雇用・生活を守るために、それぞれ用意しておりますので、何

とされています。

井尻地区は、表①の費用対効果にあるように0.58にとどまり、JR香椎駅や同萱原駅周辺とともに、条件をクリアできませんでしたが、しかしながら試算の便益の対象は、①移動時間短縮(自動車および歩行者・自転車の移動時間) ②自動車の走行経費減少(燃料費、タイヤ費等) ③交通事故減少(踏切事故等)、人的・物的損害、事故渋滞

の解消)の3点のみでした。

地元の方々を中心に私たちが訴えてきたのは、踏切事故や交通渋滞の減少にとどまらず、鉄道によって分断された井尻駅周辺を活性化するまちづくりでした。駅周辺の道路が狭く、交通結節のための空間もなく、バス路線も減少しています。歩行者の安全面や防災面の課題もあり、高架化による井尻地区全体のまちづくりが目的でした。

長を任期末までの2年間務めることになりました。

井尻地区における連続立体交差事業は私・うちこしの最大の公約でありましたが、右記のように至極残念な中間報告となりました。しかしながら井尻地区まちづくり期成会を筆頭に地元の方々とともに、引き続き連続立体交差事業の実現と井尻地区

(2面へ続く)

表① 費用対効果(B/C)

項目	西鉄井尻駅周辺		備考	井尻地区周辺	井尻地区周辺
	便益(B)	費用(C)			
便益(B)	約116		社会的便益(A%)を用いて、世帯数換算よりDPI分積み上げ	約96	約110
①移動時間短縮	約113		自動車および歩行者・自転車の移動時間短縮	約91	約105
②走行経費減少	約3		走行経費の上昇に伴う自動車の走行経費減少	約5	約4
③交通事故減少	0		踏切事故削減に伴う便益。毎年約100人に当たる約5000人の事故回避による	0	0
費用(C)	約343		約21.4億円/年	約340	約276
工事費	約173		高架橋(架設)、軌道・電力送電工事(本線・支線)、駅設備、地盤改良等の施設、等	約256	約123
用地費	約41		鉄道用地・築造スペースの確保	約17	約42
償還費	約106		建築物の移転費	約17	約57
その他	約23		災害対策費 等	約50	約24
試算対象	約284		B/C(輸送コスト削減費)を差し、踏切減少による便益分を含まない	約280	約230
現在地価(C)	約201		社会的便益(A%)を用いて、試算対象を現在の地価に換算	約179	約169
費用対効果(B/C)	0.58		補助対象基準:B/C>1	0.54	0.65

※本表はあくまで試算であり、実際の費用対効果は必ずしもこの通りとは限りません。また、本表はあくまで試算であり、実際の費用対効果は必ずしもこの通りとは限りません。

のまちづくりに努めてまいります。この困難な時期ではありますが、早期に以前の暮らしを取り戻せるようにお互いに協力してまいります。変わらぬご支援・ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。





国家国民を守るための国土強  
 靱化対策の観点から言います  
 と、高架鉄道や駅前広場、新た  
 に整備される道路は「避路路・  
 救済路」に活用できますし、災  
 害に対してしなやかな国土にす  
 る「地方分散化」にもつながりま  
 す。とりわけ福岡西方沖地震  
 (平成17年)は警固断層帯の延長  
 上で発生しており、井尻駅地区  
 はその断層帯上にありますが、  
 その被害を想定したうえで防  
 災・減災効果は一切、考慮され  
 ていません。

**三代にわたる市長の  
 前向きな答弁も、  
 実現できず忸怩たる思い**

私・うちこしは平成15年の福  
 岡市議会議員選挙で初当選以  
 来、井尻地区における連続立体  
 交差事業の早期実現を公約に掲  
 げて挑戦してまいりました。お  
 かげさまで5期連続当選をさせ  
 ていただき、市議会で8回にわ  
 たり、当局の姿勢を正してまい  
 りましたが、いまだに実現でき  
 ていないことには忸怩たる思い  
 があります。自らの非力を反省  
 するばかりです。

この間、市長も山崎広太郎氏  
 (故人)、吉田宏氏、現高島宗一  
 郎氏と3人目となります。井尻  
 地区における連続立体交差事業

について議事録をめぐってしま  
 すと、山崎氏は井尻地区の高架  
 化の必要性についての強い認識  
 とともに、「井尻は素晴らしい  
 まちの絵がかける地域だと考え  
 ており、地域住民の皆さまとも  
 もに十分検討していきたい(平  
 成18年3月定例議会)」と答弁さ  
 れています。

吉田氏も「雑餉隈、井尻地区  
 一帯が福岡市南部の都市交通の  
 結節、大変重要な地域であるこ  
 とは十分認識しており、総合的  
 地域づくりを考えたいうえで解決  
 すべき課題の一つが高架化だろ  
 うということも十分認識してい  
 ます(平成19年3月定例議会)」  
 という答弁をもらっています。

平成23年8月、鉄道高架の事  
 業化や駅周辺のまちづくりに向  
 け、自治協議会や商店街、町内  
 会の代表者の皆さんが集まっ  
 て、「井尻地区まちづくり期成  
 会」を組織化され、10月、高島  
 市長に対し、井尻地区の高架化  
 にあたっては雑餉隈地区との連  
 続性を実現されるように要望さ  
 れました。

これを受けた翌24年3月定例  
 議会で、私・うちこしが市長の  
 所見を質したのに対し、高島市  
 長は「踏切による交通混雑のほ  
 か、踏切事故の危険性や鉄道に  
 よる校区分断の解消など解決す  
 べき課題があつて、隣接する雑

餉隈地区と同様に、鉄道高架化  
 の必要性があるものと認識をい  
 たしております。また、井尻地  
 区におきましてはまちづくりの  
 期成会が発足するなど、まちづ  
 くりの機運が高まってきており  
 まして、これらの取り組みに大  
 変期待するとともに、福岡市も  
 地域とともにまちづくりに取り  
 組んでまいりたいと考えており  
 ます。今後とも、雑餉隈地区に  
 おける鉄道高架事業の進捗状況  
 も踏まえながら、地域の取り組  
 みとあわせて、鉄道高架化の検  
 討を行ってまいります」と述べ  
 していました。

**連続立体交差化の実現と  
 井尻地区のまちづくり  
 実現に努めます**

まちづくり期成会は、平成24  
 年度から3カ年にわたり、福岡  
 市の支援を受けながら、井尻地  
 区の連続立体交差事業の実現や  
 井尻駅周辺のまちづくりを進め  
 るため、地域の課題解決策や井  
 尻地区の将来像について検討を  
 重ね、「井尻地区まちづくり計  
 画書」を策定されました。期成  
 会の代表者の皆さんが福岡市に  
 対し、計画書の策定報告ならび  
 に井尻地区が目指すべきまちづ  
 くり像について提言するととも  
 に、連続立体交差化に関する要

望書を提出しています。  
 平成28年6月には、期成会  
 の会長以下役員の方々が  
 3000名を超える署名とともに  
 に、西鉄天神大牟田線井尻地区  
 における連続立体交差化の早期  
 実現を求める請願を市議会へ提  
 出し、同年12月においてこれが  
 全会派一致で採択をされました。  
 私をはじめ地元住民は、「今  
 や遅し」と連続立体交差事業の  
 早期事業化を待ちわびていたの  
 ですが、こういう結果となつて  
 しまいました。

しかし、井尻駅の乗降客数は  
 1日あたり2万3000人近  
 くに上り、西鉄天神大牟田線  
 の駅の中では5番目に多い駅  
 です。雑餉隈駅(同1位)は同  
 1万5000人余り。交通結節  
 点としての役割には大きく、南  
 区の拠点としてのポテンシャル  
 は高いものがあり、このまま  
 埋もれさせるわけにはいきませ  
 ん。引き続き、ひるむことなく  
 連続立体交差化の実現と井尻地  
 区のまちづくり実現に努めてま  
 いますので、変わらぬご支援  
 とご厚情のほどをお願いしま  
 す。







## 生活交通に関するアンケートから見えてきたこと

自由民主党福岡市議団では、福岡市が令和元年度に実施した「生活交通に関する住民意識調査」(以下、市の調査という)の内容をほぼ踏襲した独自アンケート(以下、市議団の調査という)を実施しました。

市議団の調査は、高台や坂の多い地域またはバス停など公共交通機関の乗り口から離れた地域等にお住まいの60歳以上の方々を対象とし、配布数は1840通、有効回答数は509通(回答率27.7%)。

### ②つの調査に共通する傾向

- ①家族構成「単身世帯および夫婦のみの世帯が市の調査で67.2%、市議団の調査で63.4%。
- ②買い物の頻度「市の調査では、「週に2〜3回」で43%を占め、市議団の調査でも44.4%と最も多かった。通院についても、市の調査で「月に1〜2回」が55.9%、市議団の調査でも64%と最多。
- ③買い物に出発する時間「午前9時から11時台がピーク。午後13時台も概ね13時台から15時台。
- ④通院「両調査ともに午前9時台と10時台がピーク。



③運転免許証の返納意向「運転に不安を感じた場合、市の調査で返納するとの回答が33.1%、市議団の調査では21.4%。具体的な返納時期の回答は、市議団の調査では、85歳頃まで自ら運転を続ける意向の人の割合

④2つの調査で相違のある傾向  
2つの調査の回答で見られた主な相違点は、

①外出時の交通手段「自ら運転する自動車、または他の人との同乗で自動車を利用すると答えた人の割合は、市の調査の37.9%に対し、市議団の調査では68.7%。

②現に自動車を運転している人の割合「市の調査の42.2%に対し、市議団の調査では66.6%。

③運転免許証の返納意向「運転に不安を感じた場合、市の調査で返納するとの回答が33.1%、市議団の調査では21.4%。具体的な返納時期の回答は、市議団の調査では、85歳頃まで自ら運転を続ける意向の人の割合

が、市の調査への回答と比べて生値に近づいている。

### ②つの調査結果の比較から

2つの調査の類似・相違点から、「地理的要件によって高齢者の自動車への依存度が異なる」ということが指摘できます。市の調査と市議団の調査では、外出する頻度や出かける時間帯などに大きな差はなかったにも関わらず、自動車を利用する人の割合は市議団の調査の方が高く、できるだけ運転免許証を返納したくない、いずれ返納する気はあっても、時期がはっきりしていない人が多いことが読み取れます。これは取りも直さず、地理的要件が厳しい地域に居住する高齢世帯の方が、より自動車に依存していることの証左です。

市議団ではこれまでの生活交通に関する議会質問の中で、市内各地の高台エリアにおいて、運転免許証を返納した高齢世帯が住み慣れた家を売り、高齢者施設に入ったり、都心部のマンションなどに転居する傾向が目立ってきていることを指摘してきました。本市がいつまでも住み慣れた地域で暮らせるまちであるためには、地理的要件が厳しい地域における生活交通の確保についての具体的なビジョンを早期に提示することが不

可欠です。

市議団の調査では、今後年齢を重ねて行く上で利用したい交通手段は、バスや地下鉄などの大量輸送手段の35.5%に対して、自己運転や近所との乗り合い、医療施設等の送迎車、いわゆるオンデマンド交通を希望する回答を合わせると、35.5%であり、これにタクシーを加えると、52.1%に達し、それぞれの地域に適した生活交通のあり方を検討されるよう、提言するものです。

が、過去の議会質問でも指摘してきた通り、市議団ではアイランドシティ及び周辺地区や、宮崎南地区で試験的な運行がなされている「のりーど」のような、オンデマンド交通の導入に期待をしており、今年度にも本市が取り組む生活交通に関する検討においても、たとえは南区と春日、那珂川両市の行政区を超えて運用するなど、採算が取れる仕組みや運行エリアの設定など、早期に踏み込んだ検討がなされるよう、強く要望します。

## 住み心地ランキングで、南区は県下12位

賃貸住宅の提案・施工・管理で知られる大東建託(本社、東京)が発表した「まちの住みこころランキング2021」(福岡県版)によると、福岡市南区は県下12位だった。

住みこころトップは、3年連続で中央区。九州北部の政治・経済の中心であることが大きな要因。2位は城南区、3位は糟屋郡新宮町だった。福岡市と北九州市の中間に位置し、大

順位	昨年順位	自治体名
1位	1位	福岡市中央区
2位	3位	福岡市城南区
3位	2位	糟屋郡新宮町
4位	6位	福岡市西区
5位	11位	福岡市
6位	4位	福岡市早良区
7位	5位	那珂川市
8位	7位	北九州市戸畑区
9位	8位	春日市
10位	10位	大野城市
11位	9位	福岡市博多区
12位	12位	福岡市南区
13位	13位	福岡市東区
14位	14位	筑紫野市
15位	18位	北九州市八幡東区
16位	22位	北九州市小倉北区
17位	17位	太宰府市
18位	15位	糟屋郡粕屋町
19位	19位	北九州市八幡西区
20位	16位	宗像市

※調査は今年3月。自分が住んでいる市の①生活利便性②交通利便性③行楽サービス④静かさ⑤自然環境⑥家賃⑦自然・観光などについて満足度をインターネットで尋ねた。過去2年分の調査結果と合わせ、県下在住の男女2万2000人票を対象に集計した。



井尻南公園横 外環状線道路沿いに花壇

地元井尻4丁目シニアクラブより、外環状線道路に沿う植込み地帯に花を植えたいとの依頼があり、国土交通省福岡国道事務所にお願いをし、「歩道及び植栽帯の緑化清掃活動の協定書」を結ぶことができました。

作業は、深く掘り下げ大きな石を取り除いて土作りから始め、初回の花植えは随分と大変でした。

6月28日梅雨空の下、2回目の花植えを行いました。運転中や歩く方にかわいい花々が目に留まることでしょうか。シニアクラブの皆さま、お疲れ様でした。



宮竹公園が、明るくきれいに！

令和3年3月に、リニューアルオープンした宮竹公園です。公園に隣接していた農園を市が購入し、2倍近くの広さとなりました。

以前は見通しが悪く死角になる公園で利用者が少なかったのですが、宮竹校区は子育て世代が多く、お天気の良い日はたくさんの子ともで遊んで賑わうようになりました。公園ワークショップに参加した地域住民から「明るくきれいに整備してもらったので、皆さんが喜んでます」とのお話でした。



2倍近くの広さになりました

弥永校区丁字路の拡幅改良工事が完成！

弥永校区の蓮葉の池沿いの丁字路は南区→春日の抜け道のため、交通量が多く頻繁に事故が起る交差点です。また通学路でもあり朝夕は子ども達も利用します。

拡幅改良工事をしない、交差点とスクールゾーンに色を付けドライバーに注意喚起を促しています。地域の皆さまから安全な丁字路になったと安心の声が届いています。



交通事故の多い丁字路でした

交差点とスクールゾーンに色付け

那珂水路工事が完成

日佐→橋手→五十川まで流れる水路ですが、日佐小学校前の箇所の浸食がひどく進んでいました。



日佐小学校前水路が安全に

田植えの時期になると水量も多く流れ始め地元の方から側溝の補修工事の要望がありました。

無事工事は完了し、集中豪雨でも安全な水路となりました。

保育園前の水路が歩道に

地元の水利の方々のご協力により、水路が歩道に生まれ変わりました。



梅雨と田植え時期が重なると水かさが増して困っていた側溝に蓋ができ、広い歩道になりました。登降園はもとより、園外保育にも安全安心に利用することができました。長年の願いが叶いました。有難うございました。

(左)アユラン保育園園長 高田芳江

那珂川河川敷の進歩道づくりが目に見えるようになりました。



今年も元気に育ちました！

親子がエサを運んでくるたびに、精一杯を開きさえります。地域の方々も子育ての奮闘ぶりをほほえましく眺めていました。

7月初旬に、うちこし事務所から飛び立つて行きました。

■ご連絡先  
 ●福岡市議会自由民主党控室  
 TEL092-711-4722 FAX092-741-4874  
 ●うちこし基安 事務所  
 福岡市南区井尻 4-3-49 (西鉄井尻駅交番前)  
 TEL092-589-3600 FAX092-589-3636  
 サイト <http://www.uchikoshi.info/>  
 Eメール [m@uchikoshi.info](mailto:m@uchikoshi.info)  
 どうぞ、お気軽にお立ち寄りください！

ご意見を  
 ご要望を  
 お寄せください！

